

落合 康友

議会改革を推進する諸派の会

中学校の健全な部活動運営への認識

【質】 学校教育現場の社会問題で世論で取り沙汰される「ブラック部活問題」。長時間のハードな練習を強いられる生徒の立場や、部活動指導の教職員の過酷な労働環境を指す。市の考え方と現状認識は。

【答】 部活動は学校教育の一環であり、生徒の健全な心身の育成に大きな役割を果たしている。市では、生徒や教職員の負担軽減のため、市校長会や中学校体育連盟との申し合わせにより、平日1日及び第1・第3日曜日を休止日としている。また、1日の練習時間を3時間以内にするなど、各校においては正常な部活動運営がなされていると認識している。

公立保育所での弁当持参希望者への対応

【質】 アレルギー等の身体的理由で代替給食を希望する家庭がふえているが、最近では食に対する価値観や安全意識の高まりからか、弁当等代替食の持参を希望する家庭も少なくない。希望者への市の対応は。

【答】 保育所での食事は、栄養の摂取という養護的側面、食育という教育的側面から、保育の一環として非常に重要な役割を担っている。現在入所中の保護者から、身体的理由及び個人的理由により弁当等による代替食を持参したい旨の相談がないことから、現時点で一律的な対応は決めてないが、今後、相談があった場合は、個別に対応を検討したい。

その他の質問事項

- 中学校の部活動は全員加入制か
- 他校の部活へ入部希望の生徒への対応
- 齊藤市政三期目の総括は

落合 範良

平政・公明党

小規模校の統合による空き校舎の利活用

【質】 木都能代の象徴として全国的にも注目を浴びて完成した崇徳小学校の校舎だが、小規模校の統合により平成31年4月に空き校舎となる。歴史民俗資料館として利活用する考えは。

【答】 市としては、歴史民俗資料館は必要な施設であると認識しているが、活用を検討していた第一庁舎が庁舎として使用されることとなったことから、他の既存施設の活用の検討も含め、まちづくり全体の中で設置時期や場所、手法について検討することとしている。崇徳小学校の校舎の活用についても、この中で検討していく。

公共交通未整備地域の交通体系見直しを

【質】 運転免許の自主返納がふえることが予想されるが、免許を手放しても生活できる環境はつくるべき。現在実施しているデマンド型乗合タクシーの使い勝手をよくするなど、運行体系を見直すべきでは。

【答】 市では平成30年度、能代市地域公共交通網形成計画を策定することとしており、高齢者等交通弱者の生活に欠かせない足を確保し、安全・安心な暮らしに寄与するための施策を柱としながら、より利便性の高い、持続可能な公共交通ネットワークの形成を目指したいと考えている。

その他の質問事項

- 平成30年度予算編成への思いは

菅原 隆文

希望

高校生の地元就職支援の具体策

【質】 2回目となった、高校2年生対象の企業・業種ガイダンスの評価と今後のあり方は。また、北秋田市で実績を上げている、高校生対象の介護職員初任者研修資格取得経費、全額補助制度の導入検討を。

【答】 ガイダンス参加企業や学校、生徒の評価は高く、関係団体からは継続を望む声がある。また、内定先のうち能代山本地域の事業所が占める割合も上昇しており、高校生の地元就職の推進に効果が見込まれると考えている。高校生を対象とした介護職員初任者研修については、学校や介護事業者、関係団体等の意見を伺いながら、事業の有効性を研究したい。

能代港から中国へ輸出、秋田杉材の可能性

【質】 ここ一年、中国への秋田杉材の輸出が好調である。利活用、販路拡大のためにも、業界・行政こそつて、オール能代で状況視察を。秋田杉の国際ブランド化も急ぐべきではないか。

【答】 現在、民間取引として小径木の輸出が順調であり、当面その動向を注視していく。利活用状況の視察についても今後の推移を見ながら対応したい。ブランド化については、県外や海外で県産材の展示会や即売会を行うなど、秋田スギのPRと販路拡大を推進している。市としても関係機関と連携し、ブランド力向上に向けた取り組みを検討したい。

その他の質問事項

- 買い物弱者対策、移動販売支援を
- 寒かった冬、水道凍結や除排雪は
- 能代署管内の自殺増、市役所内の予防対策